

回覧 かざぐるま



ジュニアリーダーサマーキャンプ

開成町青少年指導員連絡協議会

会長 田村 彰偉

日頃より青少年育成活動へのご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
本年度も、地域の皆さまの温かいご理解とご協力により、すべての行事を予定通り無事に実施することができました。

「あじさいまつり」では、恒例の「かざぐるま作り」を行いました。当日は600本分の材料を用意し、青少年指導員OBやジュニアリーダーの応援を得て運営にあたりましたが、多くの来場者にお越しいただき、準備した材料が終了予定時間前にすべてなくなるほどの盛況となりました。かざぐるまが上手に回ったときの参加者の笑顔に、私たちの疲れも吹き飛びました。

夏の「ジュニアリーダーサマーキャンプ」では、今年も募集定員を超える応募をいただきました。小学生から中学生、さらにジュニアリーダーとして参加した高校生や大学生との交流を通して、世代を超えた学びと成長につながる貴重な機会となりました。
また、秋に瀬戸屋敷で実施した「ジュニアリーダー研修」では、開成町産のお米で作ったおにぎりの食べ比べや釜焼きピザづくりを行い、参加者全員が笑顔で楽しい時間を過ごしました。

いずれの行事も予定を上回る多くの方にご参加いただき、また、子どもたちの笑顔や成長に触れるたびに、私たち指導員も活動の喜びを実感しております。
来年度も、青少年の健全育成のために、安心して楽しく参加できる活動が続けてまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

7月 ジュニアリーダーサマーキャンプ

7月19日(土)、ジュニアリーダーサマーキャンプが始まりました。

朝、役場に集合した小中学生54名は少し緊張した表情でしたが、仲間と顔を合わせるうちに次第に笑顔が増えていきました。



バスの中、元気に出発～!



出発式、全員間に合いました!



焼きそば作りは煙との戦い…

昼食作りでは、グループごとに焼きそば作りに挑戦しました。



施設の方から説明



青少年交流の家に到着

入所式では、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。いよいよキャンプのスタートです。



カレーライスおいしくできました～!

夕食はカレーライスに挑戦です。野菜の皮をむいたり、鍋でぐつぐつ煮込んだりと、チームで協力しながら進めました。おいしそうな香りが立ちこめる中で、できあがったカレーをみんな味わいました。外で食べるごはんは格別で、笑顔と「おかわり!」の声があふれました。



ドッチビー大会! 班別に熱い戦い!

午後は体育館でドッチビー大会です。応援の声や笑い声が体育館いっぱいに響き渡りました。



キャンプファイヤー歌って♪踊って♪

夜は仲間と一緒に布団を並べて就寝。にぎやかだった一日が終わり静かな夜が訪れました。(楽しすぎてなかなか寝付けない子どもたちもいました。)

大きな炎を囲み、皆で歌って踊ったり、グループごとに考えた出し物を披露したりして大盛り上がりでした。



火の神たちが火をつけてくれました



夜はお待ちかねのキャンプファイヤーです。

僕はもう一つ思ったことがあります。それは6年生の責任です。5年生だった頃は他の学年がやってくれると信じていたけど、6年生になってから自分達でやらないといけないと思って、5年生より大変だと思いました。キャンプファイヤーの時はどうしたら楽しいキャンプファイヤーになるか考えて行動していきました。誰にとっても楽しい最高の思い出になったと思います。他にはカレーや焼きそばなどの調理などです。1人1人に役割などがあってそれをしっかりできるかがおおいしいご飯作れるか作れないかの違いだと思えました。1人でもいないとおいしいご飯が作れなかったと思います。1人1人が自分のことや仲間のことを気遣ってやっていたところが6年生になったことの違いだと思いました。だからこれからも他のことを思って行動していきななと思えました。ジュニアリーダーサマーキャンプではこういうことを学べました。これからも頑張っていきたいなと、この体験を得て学んだことです。

「仲間のきずなと6年の責任」
開成南小学校
6年 露木 敦仁さん
僕はサマーキャンプを終えて、仲間のきずなについて学べたと思います。1人ではできないことも2人ではできることのほうがたくさんあると思えました。シーツのたたみ方が分からない時は、僕と一緒に宿泊班の友達と一緒に片付けてくれたり、助けてくれたりしてくれました。他にもドッチビーの時に相手を当てられても一緒にチームの子が「大丈夫だよ」と声をかけてくれたりしました。だから友達には本当に大事な人達なんだと改めて思いました。これからも友達と一緒に色々なことをチャレンジしていきたいと思えました。

2日目

朝食前の宿泊棟清掃も終え、入棟した時よりも部屋がキレイになり、気分もスッキリ！炊事場所に移動して朝食です。



朝食おいしいよ！

朝食後、御胎内洞窟探検に出発。途中でお菓子を食べたり、演習中の自衛隊に手を振ったり、おしゃべりしながらみんな楽しく「清宏園」までの4km歩きました。



まだまだ元気！



疲れたから、乗せてえ～！

御胎内洞窟探検です。ここは富士山の噴火によりできた68mの洞窟！（人の臓器になぞられた洞窟に入ると生まれ変わる？）



御胎内洞窟に到着！



洞窟探検に行くぞ！



中は狭いなあ

洞窟探検を終えた後、清宏園を出てすぐ近く「樹空の森」に移動しました。ふれあい広場でおのおのシートを広げて待ちに待った昼食です。



洞窟は何回も入った！楽しかった！



みんなで楽しくお弁当！



昼食後、バスであつという間に施設に戻り、研修室で感想文を書いて提出です。



何を書こうかな？



バス2台で帰路につきました。（睡魔に負けた子、多数）

開成町役場に到着し、解散式です。最後にジュニアリーダーから青少年指導員たちにお礼の言葉を贈ってから全てのスケジュールを終えて、無事解散となりました。

キャンプ、楽しかったよ～！



みなさん、お疲れさまでした！

「最高の思い出サマーキャンプ」

文命中学校
1年 井上 結月さん

私は、今年初めて友達とサマーキャンプに来ました。昨夜までは、「虫嫌だな、野外炊事大変そうだな」、「どんなになるんだろう」と楽しみ半分、心配半分でしたが、今は楽しかった！としか言いようがありません。

洞窟に入ったり、自然に触れたり、4キロ歩いたり、夜はみんなで話したり、おいしいカレーと焼きそばを作ったり、キャンプファイヤーで出し物をしたり、班の子たちと仲良くなったり、どれも最高に楽しかったです。その中でも私は野外炊事が印象に残りました。理由はお昼に班のみんなと焼きそばを協力して作ったことにより、班の子たちとより仲良くなることができました。

みんなでおいしいものを食べることで話も進み、会話も増え、楽しかったので、よりおいしく感じました。なかなかこんなに自然に触れることはなかったので、一緒に来た友達とも仲がより深くなったと思います。たった一泊二日だけで、こんなにたくさん思い出が作れて、とても楽しかったです。また友達を誘って、来年も来たいと思いました。





ジュニアリーダーサマーキャンプ

6月

手づくり広場 かぎぐるまづくり



今年も綺麗に咲きました！

子どもたちが、ハサミやトンカチ、ペンチなどの道具を手に作業している姿を心配そうに見守るお父さんとお母さん。そんな大人たちの表情とは対照的に、子どもたちは楽しそうにもつくりだに夢中になっていました。仕上げにスプレーで色を付け、かざぐるまが完成した瞬間にこぼれたみんなの笑顔がとても印象的

6月7日(土)からあじさいまつりが開催され、初日に青少年指導員は恒例の『かざぐるま作り』を行いました。当日は天候にも恵まれ、子どもから大人まで大勢の人が足を運んでくれました。かざぐるまは、4枚羽と8枚羽があり、どちらかを選んでもらった後、私たちはかざぐるま作りの指導を行いました。



指導員一同、皆さんにお会いするのがお待ちしています。当日はジュニアリーダーと指導員のOBの方も応援に来てくれて、たくさん人に体験してもらう事が出来ました。また来年も作りに来て下さい。



見て、見て！綺麗に作れたよ！



上手にできるかなあー？



誰のが一番よくまわるかなあー？

12月
ジュニアリーダー研修



こんなにいっぱいマキを割りました



心を込めて美味しくなあれ!



おはよう! 「ワクワク」「ソワソワ」



ヤッター! 火がついたよ!!



ピザの具材切りも楽しくイエーイ!



劇は面白くて、夢中で観たよ



開成産米で作ったおにぎりの食べ比べ



おにぎり上手ににぎれたね



焼きマシュマロ、美味しいね



自分で作ったピザは最高!!



焼きたてピザはプロ並みの出来栄え



ピザ、上手に焼けるかな



楽しかったね、また会いましょう



ハイ、チーズ!!



ウォークラリーの道は合っている?

12月6日(土) 瀬戸屋敷で、小学生4年から6年の27名が参加しました。ジュニアリーダーとして、自分たちで考え、協力、助け合い、思いやりの心の大切さを実感した一日になりました。

10月
スポ・レク
フェスティバル

10月5日(日)に開催された今年の「かいせいスポ・レクフェスティバル2025」は、町制施行70周年記念として町民ミニ体育祭をはじめ、多くのプログラムが拡充されました。

町民ミニ体育祭では、綱引き・ムカデリレー・水の祭典・赤ちゃんはいはいレースが行われ、より一層の盛り上がりを見せました。

青少年指導員は、輪投げ、フライングディスクゴルフ、スポーツ吹き矢を担当し、多くの方に訪れて頂きました。子どもたちが少しずつコツを掴み、上手になり、夢中に遊

んでいる姿を見ると、青少年指導員に携わっていて、本当に良かったと思います。当日はお天気にも恵まれ、カラダも心も健康になった一日でした。また来年も楽しみましょう。



11月
三世代
パークゴルフ大会

11月30日(日)、三世交代流パークゴルフ大会が開催されました。

当日は最高のパークゴルフ日和で、50名の方々が参加されました。お父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんと一

緒に、子どもたちも元気に球を打って、日頃の練習で鍛えた腕前を存分に発揮していました。これからも、開成町のパークゴルフが益々盛んに行われていくよう願っています。



一声人声

活動を振り返ると、子どもたちの成長の瞬間が数え切れないほどありました。新しい挑戦に戸惑いながらも一歩踏み出す姿、仲間と力を合わせてやり遂げる姿、そのどれもが地域の宝です。

私たち指導員ができることは大きくありませんが、「大丈夫」「よく頑張ったね」といった一声が、子どもたちの背中を押し、次の挑戦へとつながっていきます。保護者や町の皆さんの声かけも、子どもたちに安心と励ましを与えてくれます。

小さな声の積み重ねが未来を育む力になることを信じ、これからも子どもたちを見守り続けていきたいと思っています。

募集しています!!
ジュニアリーダー!!

青少年指導員事業をお手伝いしてくれるジュニアリーダーを募集しています。現在、高校生から大学生がサマーキャンプ、ジュニアリーダー研修など、子どもたちと一緒に楽しく活動しています。興味がある方はご連絡ください。

教育委員会生涯学習課
☎0465-184-0325

編集後記

おかげさまで「青少年指導員だより」は50号を迎えることができました。

誌面では子どもたちの活動を中心に紹介していますが、その裏側には準備や運営を支える多くの工夫があります。安全に活動できるように下見をしたり、備品を整えたり、当日の進行を支えたりと目立たない仕事の積み重ねが、子どもたちの安心につながっています。

指導員の働きは表に出ることは少ないかもしれませんが、地域の皆さんと力を合わせることで、子どもたちの挑戦を支えることができるのだと感じています。

これからも陰で支える役割を大切にしながら、子どもたちの未来を見守っていききたいと思えます。

編集長 小原 康晴



かざぐるまの材料は、すべて指導員が手作業で準備